

令和 2 年度 学校自己評価システムシート (県立越ヶ谷高等学校 定時制の課程)

目指す学校像	基礎学力を身につけ、社会で主体的かつ前向きに生きることのできる人材の育成
--------	--------------------------------------

重点目標	1 生徒の基礎学力の充実に向けて、授業の改善を図る。 2 生徒の学校生活の充実に向けて、効果的な特別活動や教育相談等を行う。 3 定時制高校の教育活動の理解を深めるため、情報発信を行う。
------	---

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	名
	生徒	名
	事務局(教職員)	名

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学 校 自 己 評 価					年 度 末 評 価 (2 月 1 日 現 在)		
年 度 目 標					評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標			
1	学習歴、年齢層の多様な生徒が多数在籍している他、長期間の臨時休業の影響もあり、今年度は特に授業の改善と工夫が課題である。 また、日本語を母語としない生徒を含め、授業に積極的に参加する姿勢を育成することも課題である。	多様な生徒に対応するため、授業を工夫し改善を行う。	①臨時休業中の課題の他、ネットワークを活用した教材等、多彩な教材の研究と作成を行う。 ②国語、理科、体育の実技において少人数授業を行う。 ③12月に学校評価アンケートを実施する。	①課題の作成と配布、動画の配信等を行うことができたか。 ②学期末の成績優良者が増加したか。 ③学校評価アンケートで生徒の満足度と理解度は昨年度より向上したか。			
			授業に積極的に参加する姿勢を育成するため、個別指導や授業の展開を工夫する。	①多文化共生推進員や学習サポーターと連携し、組織的に個別の学習支援を始業前及び授業中に行う。 ②数学、英語の授業において習熟度別授業を行い、学期ごとに生徒の実態に沿った授業クラスを展開する。	①生徒の長期欠席や欠点保有数が減少したか。 ②習熟度別授業において、得意科目とするクラスの人数が向上したか。		
2	生徒の多様化と臨時休業を受け、従来の特別活動の工夫とともに、進路指導と連携した活動を効果的に実施することも課題となっている。 また、生徒の自分自身・他者への思いやりの気持ちは向上してきたが、新型コロナウイルスに対する正しい理解や、臨時休業の長期化によるストレス等、新たな問題も生じたため、今年も教育相談等を中心とする支援の継続が課題である。	工夫した学校行事や部活動、進路指導を行い、生徒の学校生活の充実に実現する。	①学校行事を精査し、丁寧に実施することで生徒の参加率を増加する。 ②教員の他、若者サポートステーションをはじめとする外部支援を活用し、生徒の進路指導を組織的に行う。	①学校行事の参加率は向上したか。 ②卒業時の進路決定率が向上したか。			
			組織的な校内支援体制を構築し、生徒の実態に応じた教育相談と授業支援を行う。	①生徒の実態に応じて対応するため校内支援委員会を再編成し、生徒が授業に積極的に参加する姿勢を育成する。 ②教員の他、スクールカウンセラーや巡回支援員を活用して、生徒が授業に積極的に参加する姿勢を育成するための教育相談と授業支援を行う。	①生徒の発達段階に応じた指導の結果、生徒指導件数が減少したか。 ②スクールカウンセラー及び巡回支援員の来校回数、不登校生徒、転退学者が減少したか。		
3	本校定時制の教育活動を発信することにより、学習歴や年齢等も多様な生徒が学習の機会として志願している。 今後も、本校で可能な教育活動を様々な方法で情報発信し、地域の理解を得るとともに、4年間の高校生活を送る意欲を中学生等に喚起させる取り組みの継続が課題である。	地域や中学生にわかりやすい内容で、本校の教育活動を発信する。	①本校定時制における学校生活をホームページを活用して地域及び中学生に毎月1回以上配信する。 ②地域及び中学生を対象に学校説明会を年間6回、中学校訪問を年間2回実施する。	①ホームページの更新回数は月に1回以上か。 ②授業見学者の感想の他、学校説明会、文化祭等の来校者数、志願者数等は増加したか。			

学 校 関 係 者 評 価	
実施日	令和 年 月 日
学校関係者からの意見・要望・評価等	